

新たな交通モード案の比較シミュレーション

①鉄道上下分離案、②B R T案、③路線バス案

資料3

| | 現状維持（鉄道） | 新たな交通モード案 | | |
|---------------------------|---|---|---|--|
| | | ①鉄道上下分離案 | ②B R T（バス高速輸送システム）案 | ③路線バス案 |
| 考え方 | ▶ 平成筑豊鉄道㈱が、現状のまま鉄道を運行 | ▶ 上部と下部の主体を分離 ▶ 上部の主体が、現状のまま鉄道を運行 【上部】（鉄道運行・運営） 平成筑豊鉄道㈱ 【下部】（鉄道インフラの所有・管理） 自治体又は自治体が設立する第三種鉄道事業者 | ▶ 路線定期運行の広域コミュニティバス ▶ 現在の線路敷をバス専用道として整備・走行 ▶ 一部区間については、専用道整備不可のため、一般道を走行 【一般道走行区間】 平成筑豊鉄道と結節するJ R 駅近辺 （直方駅、田川伊田駅、田川後藤寺駅、行橋駅） | ▶ 路線定期運行の広域コミュニティバス ▶ 一般道を走行 ▶ 一部区間については、渋滞回避・車両通行困難のため、線路敷をバス専用道として整備・走行 【専用道整備区間】 ・人見駅（福智町）⇄赤池駅（福智町） ・上伊田駅（田川市）⇄柿下温泉口駅（香春町） ・油須原駅（赤村）近辺 |
| 路線 | ▶ 伊田線（直方～田川伊田） ▶ 田川線（田川伊田～行橋） ▶ 糸田線（金田～田川後藤寺） | ▶ 伊田線（直方～田川伊田） ▶ 田川線（田川伊田～行橋） ▶ 糸田線（金田～田川後藤寺） | ▶ 伊田線（直方～田川伊田） 大型車 ▶ 田川線（田川伊田～行橋） 大型車 ▶ 糸田線（金田～田川後藤寺） 大型車 | ▶ 筑豊線 ・特急便（直方～油須原） 大型車 ・各停便（直方～田川高校前） 小型車 ▶ 京築線（油須原～行橋） 小型車 ▶ 田川豊津線（金田～豊津支所） 大型車 |
| 今後30年間の赤字額計 ※1 【自治体負担】 | 473億円 | 439億円 | 148億円 〔 転換時の初期投資関係 24億円 通常運行関係 120億円 鉄道廃止関係 4億円 〕 | 110億円 〔 転換時の初期投資関係 3億円 通常運行関係 93億円 鉄道廃止関係 14億円 〕 |
| 営業距離 | 49. 2km | 49. 2km | 50. 7km （うち専用道区間40. 4km） | 56. 3km ※2 （うち専用道区間3. 4km） |
| 所要時間 （主な利用区間） | 直方 ⇄ 金田 | 22分 | 22分 | 27分 |
| | 直方 ⇄ 田川伊田 | 37分 | 37分 | 48分 |
| | 金田 ⇄ 勾金 | 23分 | 23分（勾金駅から田川高校まで徒歩8分） | 27分（田川高校の校門近くで降車） |
| | 行橋 ⇄ 犀川 | 20分 | 20分 | 39分 |
| | 田川伊田 ⇄ 新豊津 | 43分 | 43分（新豊津駅から育徳館まで徒歩26分） | 39分（育徳館の校門近くで降車）※3 |
| 速達性・定時性 確保手段 | — | — | ▶ ほぼ全ての区間で専用道を整備 | ▶ 直方⇄田川高校（香春町）間に特急便を設定 ※ 特急便は、沿線市町村の主要拠点にのみ停車 ▶ 渋滞頻発区間や道路狭隘区間に専用道を整備 |
| 輸送力 | 最大 120人/便 | 最大 120人/便 | 最大 80人/便 （大型バスの場合） | 最大 80人/便 （大型バスの場合） |
| 運行頻度 ※4 （例：直方駅発） | 1. 9本/時間 | 1. 9本/時間 | 1. 9本/時間 | 2. 4本/時間 |
| 駅数 （バス停数） | 36駅 | 36駅 | 36バス停 | 40バス停以上 |
| ルート設定 （柔軟性） | ルート変更不可 | ルート変更不可 | 一般道走行区間(10. 3km)のルートは変更可能 | 一般道走行区間(52. 9km)のルートは変更可能 |
| その他 | | | ▶ 専用道整備に少なくとも5年必要 ※ 専用道開通まで、③路線バス案を一時的に導入 ▶ 専用道の維持・管理が必要 ▶ 新サービスの導入 利便増進 （I Cカード決済、バスロケーションシステム等） | ▶ 集客施設のより近くで降車可能 利便増進 （田川市立病院、田川高、田川科学技術高、育徳館等） ▶ 新たな地区にバス停を設置 利便増進 （福智町草場地区・方城地区、行橋市宝山地区等） ▶ 新サービスの導入 利便増進 （I Cカード決済、バスロケーションシステム等） |

※1 国・県補助金のほか、交付税措置も踏まえて算出（いずれも各制度を最大限活用できた場合の理論値）。物価上昇率については、直近5年平均の数値を使用。

※2 筑豊線の特急便と京築線の距離を合算し算出（田川豊津線は算入していない。）

※3 国道201号線及び県道58号線を走行し、途中、香春町役場にのみ停車し、速達性を確保（田川豊津線）

※4 平日における直方駅からの1時間当たりの出発本数（鉄道はAM6時台～PM11時台、B R T案はAM6時台～PM10時台、路線バス案はAM6時台～PM8時台の1時間当たりの平均本数を算出）